

第 60 回明大昆虫セミナー

コガネムシはなぜピカピカか？

ー構造色を生み出す仕組みとその役割の解明を目指してー

神村 学 氏

(農研機構 生物機能利用研究部門)

日時：2019 年 10 月 23 日（水）17:10～19:00 頃

会場：明治大学 生田キャンパス 農学部 6-207 教室

コガネムシを含めて昆虫は構造色の宝庫です。構造色とは光の波長程度のサイズの微細構造が作り出す色で、様々な生物で構造色を生み出す物理特性が明らかにされ、モルフォチョウ（南米に住むメタリック・ブルーの蝶）の構造色を模した繊維や塗料が開発されるなど産業利用も活発に行われています。しかし、生物がそのような精巧な微細構造をどのように作っているかはほとんど分かっていません。また、構造色の役割も様々に推測されていますが、実証された例は非常に限られています。そのような中、講演者はコガネムシを使って構造色の発色機構とその役割の研究をしています。最近になり、コガネムシの構造色発色の鍵となる遺伝子を発見しました。この遺伝子の発現を抑制することにより、各種のコガネムシで構造色の発色度合いを簡単に操作することができます。本セミナーでは、この結果について紹介するとともに、構造色改変コガネムシを使って今後どのようなことができるか議論したいと思います。皆さま奮ってご参集下さい。

問い合わせ：農学部 応用昆虫学研究室 糸山 享